No.10
2013.3

科学するよろこびとたのしさを 金沢子ども科学財団だより

平成24年度　財団トップニュース

「広坂子ども科学スタジオ」利用者2万人を達成しました!!

広坂子ども科学スタジオは平成19年6月のオープン以来、毎週異なるテーマを取り上げて実験や工作をしながら、科学の不思議さや面白さを体験する場として多くの方々からご好評いただいています。

多くの方にご支援、ご協力いただき、平成22年2月27日には利用者が1万人を達成し、平成25年1月26日には2万人を達成することとなりました。

これからも広坂子ども科学スタジオを大いにご利用いただき、科学の体験を親子で楽しんでいただければ幸いです。金沢子ども科学財団では、こうした活動を通じて未来の科学者育成の一助になれますよう様々な活動に取り組んでまいります。

利用者2万人達成セレモニー
認定証授与と記念品の贈呈

記念実験「風のふしぎ」
中村理事長と野口副理事長も一緒に楽しみました

平成24年度　実施事業の報告

おもしろ実験・観察教室

財団の実験室や野外での活動を通して、物理・化学・生物・地学の各分野の教室を実施しています。3年生と4年生は年12回、5年～中学生は年10回の教室を毎回参加者を募集して実施しています。

広坂子ども科学スタジオ終了後の学年の皆さんに参加いただきました。これからも科学好きな子ども達にたくさん参加いただき、未来の科学者が育ってくれることを願っています。

きょうのじっけんでいろいろなことをしてとっても楽しかった。おしえてくれた人のいったことがとても分かりやすかった。

赤色になった塩化コバルトを温めたら青色になったり、青色の方を冷やしたら赤色になったのでとても面白かった。

生きているタマムシを見ることができて印象に残った。標本づくりも思った以上のできになったのでよかった。

がけを登ってカシパンウニやホタテガイを発掘できてよかった。クリーニングで割ってしまったが大きいサイズがとれた。

年間講座

児童科学教室

1年間の受講生を募集して行う科学教室で、小学5・6年生対象の事業です。野町、中央、明成の3教室で222名の児童が学んでいます。

今年度は、2月16日の修了式をもって終了しました。

サイエンスクラブ

1年間の受講生を募集して行う科学教室で、中学1～3年生対象の事業です。

今年度は33名の生徒が所属し、年間10回開催されました。指導員の先生方による実験や夏季合宿の他、自由研究に取り組んだり、大学で最先端の研究を学ぶなどとても充実した活動となりました。

算数・数学チャレンジクラブ

1年間の受講生を募集して行う算数・数学の教室で、小学5・6年生と中学生対象の事業です。

今年度は、169名の小学生と61名の中学生が受講しました。

学校の算数・数学とはひとあじ異なり、「地図は何色でぬれるか?」「立方体のおもしろ展開図」「パターンブロックにチャレンジ」のように、作業や制作、ゲームなどを通して難しくても楽しく学べていました。

【利用者の感想から】

「ペントミノで頭の体操」(6年生)

ペントミノをはめ込むことは説明では簡単そうだったのに、意外と難しくてびっくりしました。世界で2通りしかない20×3のペントミノのもう1つを完成させたくなりました。今までパズルが苦手でしたが、難しくても面白いパズルがあると知って楽しくなりました。

科学研究作品展

子どもたちが主に夏季休業期間中に行った研究作品を展示しました。市内小中学校から小学生812点、中学生170点の計982点の応募がありました。

期間中、2,050人の参観者で賑わいました。

場所
玉川こども図書館

期間
平成24年
11月10日(土)～18日(日)

【参観者の感想から】

- ほかの人は、予想をしてから実験をしていたので、来年は予想をしてから実験をしたいと思った。
- とてもすばらしい作品が数多くあり、今後の研究の参考になりました。
- レベルの高さにおどろいた。子どもの学ぶ意欲を高めるすばらしい企画だと思う。今後の発展を期待します。
- 石川県の小さな科学者たち、将来が楽しみです。期待していまーす。
- みんないろいろな興味をもち、時間をかけて熱心に研究しているのに感心しました。どんなことでも研究対象になること等が参考になりました。

科学研究口頭発表会

子どもたちが自分の研究について口頭発表する会で、子どもたちの発表能力を育成し、さらにその発表へのコメントを得ることで研究発展への応用力を育成していこうとするものです。

発表は18タイトル、18人の参加で行いました。

場所
玉川こども図書館

開催
平成24年
11月17日(土)

【参加者、参観者の感想から】

- 今年の発表会は共感を持って聞いて下さる雰囲気が感じられ、とてもよかったと思います。子どもたちがさらに科学的な興味をもてるようなコメントもいただけて、楽しく発表を聞くことができました。(保護者)
- 発表後の先生方からいただいたコメントが大変参考になりました。これからもがんばろうと思ったようです。ありがとうございました。(保護者)
- みんな、すごくうまい発表だった。「聞く」ことと、人前で「話す」ことはどちらも大切なことだから、また参加できそうなチャンスがあれば、発表してみたい。(児童)

広坂子ども科学スタジオ

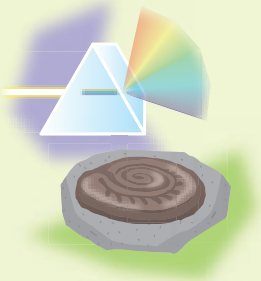
未就学の年長児から小学校1・2年生の児童を対象に、科学実験や自然観察を行い、今年度も多くの方々に参加いただきました。

活動は毎週異なる内容で午前と午後の2回開催しています。スタジオでは、身近にある物を利用してものづくりをしたり、それを使って科学遊びや科学的な内容についての実験を行ったりするほか、年10回程度野外での観察も行っています。

内容としては、音･光･色など身の回りの物質の性質、食品、動植物、土･化石･宇宙などをテーマとしたいろいろな実験や観察を行っています。また、算数の講座も2回開催しました。これらを通じて、科学のおもしろさや不思議さを感じ、親しみを持って欲しいと願っています。

【利用者の感想から】

- 虹は場所によって違うと思っていたのに、どこでも同じだとわかりました。ホースでまいた水の後ろにいったら虹がなくて、前で虹が見えたのでとっても不思議でした。蛍光灯の光を分光シートで見たら、オーロラみたいでびっくりしました。（小2）
- 化石のレプリカを初めて親子で作りました。どうなるかと思いましたが、細かい部分までできて、びっくりしました。色づけも楽しくできて、子どもも嬉しそうでした。子どもの感想を見ていたら、時代の長さを感じてくれたようでよかったです。（保護者）



広坂子ども科学スタジオ・オープンスクール

保育園・幼稚園年長児や小学校1・2年生を対象とした校外活動の一環として、平日に広坂子ども科学スタジオで実験教室を行っています。

【利用者の感想から】

今日は楽しい時間をありがとうございました。子どもたちもすごく楽しかったようで、「早くお母さんに見せたいね」「おもしろかったね～!」と帰り道嬉しそうに話していました。楽しさとともに「不思議」を感じ、科学に対する興味を持つきっかけとなったようです。

交流事業

財団では科学やものづくりへの興味を持っていただけることを期待し、大学やその研究室、企業等の実施する社会貢献活動に協力・共同した科学教室や講演会等を開催しています。

今年度もテクノパーク科学教室（日機装「腎臓はどのようなはたらきをしているの?」、横河電機「光の鑑定士になろう～照度計をつくろう～」）などを開催し、多くの方に参加いただきました。

科学相談

小学3年から中学生を対象に、科学研究をやってみたいが、どのように研究を進めたよいか分からない、より深く研究をするにはどうしたらよいか等にアドバイスする講座です。

今年は小学生5名の応募がありました。

【利用者の感想から】

- 長いと思っていたけど、あっというまでした。満足する研究ができました。来年はもっとくわしいことを調べたいと思います。（児童）
- 息子の理解度に合わせて、ゆっくりと指導していただき、科学的思考が身につき、研究内容の深いものとなりました。（保護者）

出前科学スクール

おもに保育園や幼稚園、小学校の保護者会などからの申込を受けて行う出前型の教室です。

今年もたくさんの方にご利用いただきました。

【利用者の感想から】

風のふしぎ

身の回りの不思議なことを解明したり、新しい発見があったりして子どもたちは目を輝かせていました。

特別事業

ジュニア科学者養成講座　長期

子ども科学財団既存事業の児童科学教室、サイエンスクラブ、科学研究作品展、科学研究口頭発表会等に参加している子どもたちの中から、優れた科学研究をし、さらに深く研究したいという意欲を持つ子どもたちをバックアップする取り組みを実施しています。

期間は4月末から8月末まで、12単位･36時間を基本に12名が、金沢大学理工学域大学院生に指導をいただき、研究をしてきました。

今年度は、小学生4名、中学生4名の応募があり、4月末から研究を開始しました。市作品展では優秀賞5点、県作品展では特別賞2点、優秀賞1点、優良賞2点、また、全国展では1点が入賞しました。

算数･数学オリンピック支援講座

難度の高い算数･数学に興味のある算数･数学チャレンジクラブ員を中心に学年別クラスを編成し、より高い算数･数学の能力育成を目指しています。具体的な目標として、算数オリンピックや広中杯などを掲げています。今年度は、2名が地方大会に合格し全国大会へ進み、1名はジュニア算数オリンピック第9位に入賞することができました。

【利用者の感想から】

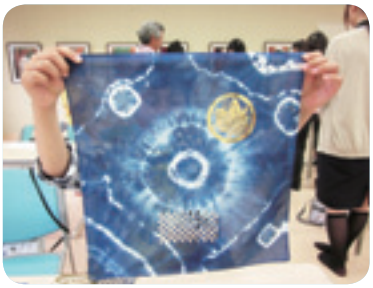
「表を使って解く問題がありました。よく考えると分かったので嬉しかったです。」(小学5年生)

「問題は見方を変化させることで、とても簡単に解くことができました。そして、ミスも少なくなると分かりました。少し数学の力が伸びていると感じました。」(中学1年生)

産業･文化･教育から科学を学んでみよう

金沢の文化･産業･教育の中からわたしたちの身のまわりにある科学を見つけ出し、科学だけでなく郷土の素晴らしい一面を学ぶ機会とします。

金沢湯涌創作の森でハンカチの藍染めを行い、そのハンカチに金沢能楽美術館で金のすり箔風の文様をつける実験を行って、身のまわりに潜む科学的要素を楽しく学びました。



この財団だよりに掲載している事業への参加者数などの資料は財団ホームページに資料編として掲載しております。併せてご覧ください。

財団では寄附を募集しております

当財団は、主に金沢市に在住する児童生徒等の課外における科学的な活動などを支援するとともに、その普及･発展に努め、科学の心を育むことを目的に、「児童生徒等を対象とした課外での科学に関する活動」、「児童生徒等の科学の心を育てるための普及啓発活動」、「科学に関する諸団体や国内外の児童生徒等との交流活動」を柱とした事業を実施しています。また、これら事業の高い公益性が認められ、「公益財団法人」として、平成23年4月より運営を行っております。

これらの事業に必要な資金は様々な団体からの助成金や事業参加者からいただく参加費、そして財団が所有する限りある基金を取り崩して行っております。こうした“教育普及活動”は一朝一夕で成果のあがるものではなく、長期にわたり継続していくことでその効果が発揮できるものと認識しております。こうした意義ある事業を今後とも継続発展させ、一人でも多くの子どもたちの科学の芽を育てていくためには、多くの皆様方からの温かいご支援が不可欠と考えております。

また、こうした公益性の高い団体へ行われる“寄附”はその寄附者に対し、税額の控除等が認められています。財団では、こうしたことも踏まえ、多くの方々からのご支持、ご寄附をいただき、もっと多くの子どもたちに事業へ参加いただける環境づくりのため前進していきたいと考えております。

以上、当財団の事業活動にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せいただくようお願い申し上げます。

公益財団法人 金沢子ども科学財団だより

第10号

平成25(2013)年 3月発行

公益財団法人 金沢子ども科学財団

〒920-0913　石川県金沢市西町三番丁16番地

Tel:(076)221-2061　Fax:(076)221-2062

メールアドレス kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp

ホームページ http://www.kanazawa-city.ed.jp/kodomokagaku/

▶その他詳しくは、お電話でお問い合わせもしくは、財団ホームページをご覧ください。　金沢子ども科学財団　検索

西町三番丁16番地

柿木畠1番1号